

県大 jiman

滋賀県立大学広報誌
第10号010
Jan. 2012

祝10号・表紙企画
あなたの県大 jimanは？



特集 巻頭企画 世界へ飛び出せ！県大生
留学制度と体験談 国際コミュニケーション学科スタート。 2

学生企画 突撃!! 下宿訪問
あなたのお部屋 見せてください。 6

県大Report

Labo Report
県大jimanな研究室。今回は環境科学部 伴研究室です。 8

Class Report
あの授業はどんな授業？今回は全学共通教育科目の「健康体力・科学」です。 8

After School Report
今回は荒神山ロックフェス、湖風祭、震災支援報告会をレポートします。 9

Kendai Book Review
今回は「大学的滋賀ガイド」と「小舟木エコ村ものがたり」を紹介します。 9

トピックス&インフォメーション
県大イベントカレンダー 10

Report
Abroad

「県大 jiman」について

琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って「自慢」する、明るく前向きに応援する気持ちをロゴにデザインしました。

滋賀県立大学

The University of Shiga Prefecture

特集

世界へ飛び出せ!

県大生

県大では様々な国と交流を行っており、海外留学や英語力向上のための取り組みを通じて、学生をサポートしています。2012年4月には、新たに「国際コミュニケーション学科」がスタートし、さらに世界が広がります。

■交換留学とは…

交換留学協定に基づく留学で、期間は原則1年間。平成23年度交換留学協定大学はP.3の7大学1機関です。なお、留学期間は在学期間に算入され、留学先の授業料については免除されます。

ミシガンへの留学は、州立の15大学の中から、TOEFLスコアと希望分野により選定されます。

■短期研修とは…

授業科目「異文化理解A/B」による短期研修留学。「異文化理解A」では、夏季休業中の3週間、アメリカミシガン州のレイクスペリオル州立大学において特別講義を履修します。

「異文化理解B」では、春季休業中の3週間、中国湖南省の湖南師範大学において特別講義を履修します。なお、この短期研修にかかる費用は個人負担（一部補助あり）となります。

留学制度紹介

■私費留学とは…

協定校以外への留学は私費留学となります。留学先・期間などは自由に決定できますが、手続き等はすべて自分で行うのが基本です。留学期間は在学期間に算入されないため、長期の場合は休学する必要があります。

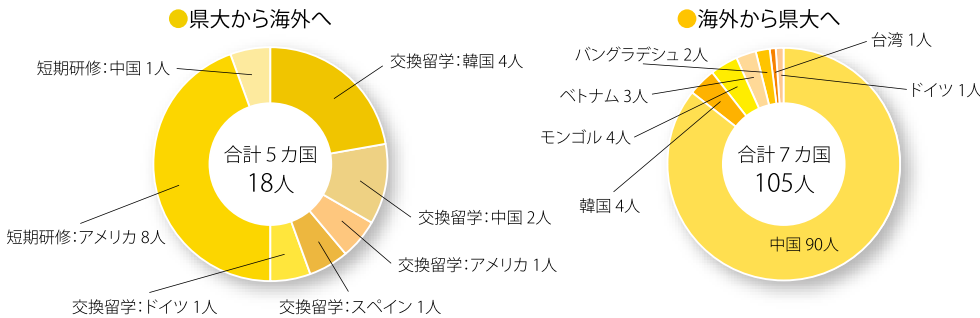


■派遣留学とは…

派遣留学協定に基づく留学で、期間は原則4か月以上。派遣協定大学は、ランシングコミュニティカレッジ（アメリカ合衆国）です。留学期間は在学期間に算入されますが、授業料の減免はできません。

派遣留学は、国際コミュニケーション学科の学生を対象に平成25年からスタートする予定です。

■留学生数(平成23年度)



■IELTSとは…

IELTS(アイエルツ)は、英国の国際文化交流機関のブリティッシュカウンシル等が主催、運営をしている英語検定テスト。特にイギリス、オーストラリア、ニュージーランド、北米の大学入学の際に必要とされることが多い。

■TOEFLとは…

TOEFL(トーフル)とは、世界中の英語検定テストの中で最も幅広い国々で受け入れられているテストである。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼ全ての大学をはじめとした、180カ国8,000以上の機関がそのスコアを英語能力の判断基準として利用している。日本では海外留学選考の目安として利用されることが多い。

■TOEICとは…

TOEIC(トイーック)とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する共通のテストとして世界約120ヶ国で実施されている。本学では、入学時と1年次終了時、2年次終了時の計3回TOEICの受験を全員に義務付けており、英語力の向上を確認することとしている。試験は本学を試験会場にして実施される。

■ネイティブ教員一覧

県大には7名のネイティブ教員がスタンバイ。学生の心強い味方です。



ヒメネス ベルデホ
JIMENEZ VERDEJO
ホアン ラモン
Juan Ramon

出身国
スペイン
主な担当科目
環境設計
環境・建築デザイン演習



バラチャンドラン
BALACHANDRAN
ジェヤデヴァン
Jeyadevan

出身国
スリランカ
主な担当科目
無機化学
無機ナノ粒子工学



ボルジギン
BORJIGIN
ブルンサイン
Burensain

出身国
中国
主な担当科目
中国・内モンゴル地域文化論



リウフェ
呉 凌非
(WU Lingfei)

出身国
中国
主な担当科目
中国語Ⅰ,Ⅱ



ウォルター
Walter
クリンガー
KLINGER

出身国
カナダ
主な担当科目
英語Ⅱ,ⅣA,ⅤB



カール
Karl
ヘッドバーグ
HEDBERG

出身国
アメリカ
主な担当科目
英語Ⅱ,ⅣA,ⅣB,ⅤA,ⅤB



ミサキ
三崎
リン
Lynne

出身国
イギリス
北アイルランド
主な担当科目
英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ

■レイクス・ペリオル州立大学
Lake Superior State University
(アメリカ・ミシガン州)



1946年に創立された州立大学で、ミシガン州北半島地区の五大湖の一つであるスペリオル湖岸に位置する。JCMU加盟大学の一つで、その自然豊かな立地を活かした、水産学・野生管理や環境科学といった専攻分野がある。ミシガン州では最も規模の小さい州立大学ながらも、文系・理系の45分野(学部)を有し、学部教育に重きを置いている。



交換留学
協定大学
紹介



■湖南師範大学
Hunan Normal University
(中国・湖南省)



1938年に創立された国立大学で、大学の所在する長沙市は国家歴史文化名城(中国の文化遺産保護制度)にも指定されている歴史と文化の都市である。1995年に「211 Project」の国家重点大学100校の一つに選ばれており、現在は、31,000人を超える留学生が学んでいる。

■セヴィーリヤ大学

The University of Seville
(スペイン・アンダルシア州)



1551年に創立されたアンダルシア地方の公立大学で、スペイン国内大学では2番目に学生数が多く、7万人以上の学生を有する大規模大学である。哲学、法学、薬学など25学部を有し、教育・研究だけでなく、地域貢献にも積極的に取り組む。



国名	大学名	所在地	主な学習内容	募集人員	対象	語学条件
中国	湖南師範大学	湖南省長沙市	中国語	10人	全学	特になし
	湖南農業大学	湖南省長沙市	農業関係の専門分野	2人	全学	特になし
	海南大学	海南省海口市	中国語	2人	全学	特になし
韓国	国民大学校	ソウル	韓国語・文化	3人	地域文化学科	特になし
モンゴル	モンゴル国立大学	ウランバートル	モンゴル語	3人	地域文化学科	特になし
アメリカ	ミシガン州の州立大学	ミシガン州の各都市	希望する専門分野	2人	全学	TOEFLスコア
ドイツ	アウクスブルグ大学	アウクスブルグ	希望する専門分野	3人	全学	特になし
スペイン	セヴィーリヤ大学	セヴィーリヤ	希望する専門分野	3人	全学	特になし

■図書館を利用しよう

図書情報センターでは、一般図書のほか、英語学習支援のために洋書だけでなくTOEIC試験対策本や語学学習関連雑誌などを、約12,500冊(語学関連のみ。洋書(全分野)は約60,800冊)を所蔵しています。今後、国際コミュニケーション学科開設にあわせ、ますます蔵書を増やしていくとことです。

また、AO棟2階の学生支援室には、TOEIC対策用の問題集が多く置いてあり、学生は自由に借りることができます。



英語学習
の
ススメ

Hey, Kendai People!
What are you doing everyday at lunch time? Come on and join us at the ESS Club! Bring your lunch, and enjoy English songs and activities! Don't worry if you think you can't speak well. You will soon improve!



Message from Advisor

ESS部では、毎日お昼休みにA3-201教室で集まって英語学習をしています。月・火・木曜日には、部員のみで自主レッスンをを行い、水曜はCMUの学生と、金曜日はネイティブの先生とランチをしながらフリートークをしています。その他、スピーチコンテストへの出場やディベート大会など一年を通じて英語と触れ合う機会があります。

毎日のお昼休みの活動には誰でも参加できますので、あなたも参加してみませんか?



■ESS部に参加しよう

■e-learning利用してますか?

e-learningとは、パソコンやコンピュータネットワークなどを利用した学習形態のことで、本学ではリスニング、リーディングのほか、TOEICに対応したテストやパート別練習問題などをいつでも学習できるシステムを導入しています。現在は、学内のパソコンからのみ接続可能ですが、さらに便利に学習をサポートするため自宅からもアクセスできるよう準備を進めています。

大学ホームページからログインできますので、ぜひ利用してみましょう。目指せ、TOEICスコアアップ!

■JCMU英語プログラムで語学力UP!

JCMU(The Japan Center for Michigan Universities)とは、ミシガン州立大学連合日本センターの略称で彦根市松原町にあります。JCMUではミシガン州内にある15の州立大学等に在籍する留学生を対象とした日本語・日本文化プログラムや、ネイティブ講師による英語プログラム、公開講座などを実施しています。

滋賀県立大学との協定に基づき、県立大学生はJCMUで実施される英語プログラムを無料で受講できるのをご存知でしょうか?開講は春・夏・秋・冬季と年に4回。会場も彦根、栗東、大津から選ぶことができます。英語集中コース、テーマ別コースなど自分のスキルに応じてコースを選ぶことができるので、レベルアップを目指す人にはピッタリ。

詳細は学生支援センターまでお問合せください。

JCMUホームページ: <http://www.jcmu.net/index.html>





岩田 晃さん
人間文化学部地域文化学科
3年生

- ①大韓民国ソウル市
国民大学校 国史学科
- ②1年間の交換留学
- ③留学のきっかけは1回生の11月頃の講義で留学生や先生と仲良くなり勧められたことです。それまでは、留学についてあまり考えたことがなかったのですが、留学のよさを聞いて、パッと行く決心をしました。

④友人の通う教会と一緒にいく機会が多くあり、それがきっかけでクリスマスパーティーにも参加しました。日本と韓国の曲を練習して、ギターの弾き語り演奏をしたことは、すごくいい思い出の1つです。

⑤入国して最初に行うのが、外国人登録や銀行口座の開設などですが、初めてのことで戸惑うこともありました。大変と思えることでも、それを楽しむぐらゐの気持ちで!



⑥たくさんあるので直接聞いてほしいくらいです!といっても僕は1つの留学経験しか知らないですから。人それぞれによって留学生活は全く違ったものになってきます。とりあえず行ってみる!!帰ってきたら、ぜひ僕にもその経験談を聞かせてください。

Study Abroad USP Students

- ①アメリカ合衆国ミシガン州
レイクスベリオル州立大学

②3週間の短期研修「異文化理解A」



川村 知世さん
人間文化学部生活栄養学科
2年生

③日常とは違う世界を味わうことで得られるものは多く、今しかできないことだと感じて参加しました。少しは英語力の向上につながるかなと期待して行きました。

④日本とは違う雄大な景色に圧倒され、中でも五大湖の夕焼けは今まで見た中で一番きれいでした。町ですれ違う人はみなフレンドリーで、人々の温かさに触れることができました。現地の人にもっと積極的に話していけばよかったなど少し後悔もあります。

⑤文化の違いから生活習慣が少しずつ異なっていて、食事やトイレ、お風呂など、やっぱり日本がいいなとアメリカに行って改めて感じる事ができました。



⑥少しでも興味をもっているのであれば、ぜひ学生のうちに経験しておくべきですね。社会人になってからでは難しいと思うので、チャンスがあるうちに挑戦すべきです。不安や心配は多少あるけれど、帰ってきたときには、それ以上のものが得られるはずですよ。

- ① 留学先
- ② 期間と形態
- ③ 志望理由
- ④ 楽しかったこと
- ⑤ 大変だったこと
- ⑥ メッセージ・アドバイス

- ①中国湖南省長沙市
湖南師範大学 国際漢語文化学院

②1年間の交換留学



臼井 亜希子さん
人間文化学部地域文化学科
4年生

③中国についての講義を受けていく中で、中国に関心を持つようになりました。自分の身で文化を体感したいと思うようになったこと、授業料免除で1年間留学できるのは今しかできないのではと思い留学を決めました。

④中国の文化、人柄に触れられたこと。初めは慣れないことばかりですが、次第に好きになりますし、自分自身もタフになれます。また中国の文化だけでなく、他の国からの留学生とも交流ができて楽しかったです。

⑤最初の何カ月かは中国語が話せず苦労しました。友達との会話で、上手く中国語で表現できず悔しい思いもしました。留学する前に一定のレベルの中国語が話せていたら、現地での生活も色々違っていたのかな?と思います。



⑥少しでも行きたいと考えているのであれば、思い切って行動するべきです。今しかない「大学生」という立場をフル活用してほしいですね。語学だけでなく、異国での経験は考え方や視野を広げることができます。私は本当に行ってよかったので、皆さんにもぜひ行ってほしいです。

ポーランド寿恵子さん
教務グループ 国際交流担当

自分だけのアイデア、持っていますか?その第一歩、それは「常識」が何かを知ることです。

留学はそれを外から見つめる作業。そこから創造が始まるのです。世界は広いですよ!私達がサポートします。いってらっしゃい!

国際交流担当職員からメッセージ!



松浦みのりさん
教務グループ 国際交流担当

海外に出る機会は沢山ありますが、留学は他では得られない充実した時間を与えてくれるはずです。

本学では、交換留学や短期海外研修等の制度を提供しています。少しでも興味のある方は相談しに来てください。

■交換留学生の一日

●アウグスブルグ大学への交換留学生



徳永 祥孝 さん
環境科学部生物資源管理学科 4 年生

起床・朝食
6:30

午前の授業開始時間
8:15

「言葉のわからない中での生活というのは大変な部分が大きくしんどい部分が大半ですが、それでも楽しく生活しています(笑)。」

学生寮からStraßenbahn
(路面電車)で20分ほど。

大学へ出発
13:30

授業
14:00

帰宅
夕方



		この日は午前中の授業がないのでドイツ語の宿題、勉強、買い物などをして過ごす。	「Klassische Brennpunkte des Umweltschutzes」 (バイエルン州の環境保護に関する講義) もちろん「ドイツ語」も受講しています。	晩ご飯後、自由時間。そして就寝。
--	--	----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------

ただいま交換留学中



シュファニー・マリア・ランドウェア さん

6:45
起床・朝食

10:00
大学へ出発

「日本語」
日本語はドイツで2年間勉強してきました!

チューターと一緒に昼ご飯
ESS部に参加

「植物資源開発学」
他に日本文化に関する講義も受講しています。授業がないときは宿題などをして過ごします。

帰宅後は勉強やホームステイ先の犬と散歩。
晩ご飯後は、インターネットでドイツの友達とチャット。そして就寝。



	朝食後はメールのチェックや勉強をする。								夕方 帰宅
--	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	----------

ホームステイ先から自転車まで30分ほど。

「ドイツの生活と違って驚くこともありますが、滋養は人が親切だし、自然もとってもきれいだ。いいところですよ。毎日楽しんでますよ。」

●アウグスブルグ大学からの交換留学生

■4年間の学習フロー

科目区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	外国語、健康体力科学、情報人間学							
学部共通科目	環琵琶湖文化論実習・人間文化論・Japanese Culture and Civilization							
学科専門科目	基礎科目				展開科目			
学科基礎	国際コミュニケーション論・言語学概論							
言語コミュニケーション	留学に必要な外国語能力を身につける							
	海外留学に備えて英語や第2外国語を集中的に学ぶ		海外留学		外国語能力をさらに磨く			
	基礎	理論	実践	多言語	長期・中期・短期のいずれかの海外留学を経験	「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げる		
多文化コミュニケーション	専門的な講義を通して国際的視野を身につける							
	多文化共生	国際教養	国際文化論	多民族・多文化化する現代の世界や地域社会の課題を理解し、それに対応できる知と実践力を身につける。				
少人数演習	(人間探求学)	基礎演習	発展演習		研究演習			
	各科目群の学びをさらに深め、同時にプレゼンテーション、ディスカッション、論理的思考、問題発見・解決のための力を身につける少人数での演習(ゼミ)							
卒業研究・論文	論理的なアカデミック・ライティングと、内容の独自性を備えた卒業研究・論文で、学びを大成する							
資格関連科目	中学校教諭一種免許(英語)・高等学校教諭一種免許(英語)が取得可能なカリキュラム							

■2012年4月 国際コミュニケーション学科が スタートします

On April 1, 2012, the University of Shiga Prefecture will hear the first cry of the newborn Department of Intercultural Communications in its School of Human Cultures.

人間文化学部の5番目の学科(入学定員50名)として新たにスタートする国際コミュニケーション学科。グローバル化する現代社会に対応する「知と実践力」を養うカリキュラムで、自国や諸外国の社会・文化・歴史等に関する幅広い知識や教養、英語を中心とした複数の外国語の運用能力と国際的視野を身につけ、国際化する社会でグローバルに活躍できる人材を育成します。

■国際コミュニケーション学科長からメッセージ

I have been with the university for almost seventeen years since it was founded in 1995. Full of memories centering around the students now and past, I feel very much pleased with having been part of its history and legacy. Let us step forward!



国際コミュニケーション学科ホームページ
<http://www.shc.usp.ac.jp/icc/>

■グローバル人材への期待

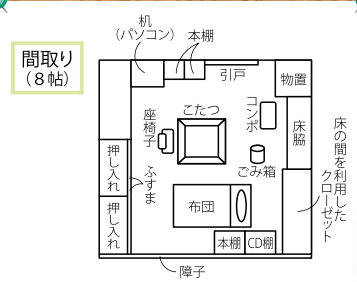
(社)日本経済団体連合会の「グローバル人材の育成に向けた提言」(2011年6月14日)によると、グローバルに活躍する日本人人材に求められる素質・知識・能力として、「外国語によるコミュニケーション能力(67.9%)」、「海外との文化、価値観の差に興味・関心を持ち、柔軟に対応する(57.6%)」を挙げています(調査対象542社)。

企業のグローバルな事業展開が拡大する中で、国際ビジネスで活躍できるチャンスも広がってきています。

■学びのポイント

国際社会では英語ができることに加えて、さらに何ができるかということが問われます。本学科では英語以外の言語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、モンゴル語)もしっかりと学習できるようになっています。1年間の海外留学(中期・短期もあります)を推奨していますので、その準備をするために短期間で集中して外国語の実践力を身につけるカリキュラムを用意しています。

4回生の9月まではアパートを借りて下宿していた藤吉さんは、10月からは先生を含む6人で一軒家のハウスシェア生活をスタートしました。



○食事はどうしていますか？
朝はコンビニ、昼は大学の食堂で食べています。夜は外食をすることがほとんどですが、ルームメイトと自炊をすることもあります。

○あなたの節約術を教えてください。
使っていない家電製品の電源はこまめに消すことで電気代を節約するように心がけています。

○今の下宿に決めた理由は？決め手は？
もともとは、ワンルームマンションで一人暮らしをしていましたが、家賃がとても安かったので引っ越しました。大学まで自転車で通っていて20分ぐらいです。

○ハウスシェアをしてよかったことを聞かせてください。
ルームメイトや先生と食卓を囲む機会が何度かあり、家族で食事しているような温かい空間を共有できることは、ハウスシェアでしか味わえない醍醐味ですね。

○ハウスシェアをして大変だったことを聞かせてください。
一人暮らしをしていた頃は、家事を全て一人でしなければいけなく大変でしたが、ハウスシェアをしている今は、ルームメイトと助け合いながら生活できています。

○これからハウスシェアをする人へアドバイスをお願いします。
ハウスシェアといっても、各々のプライベート空間はしっかり確保されています。ですが、部屋にこもるのではなく、ルームメイトとの交流を深めることで、より楽しく温かな空間の中で日常生活が送れると思いますよ。



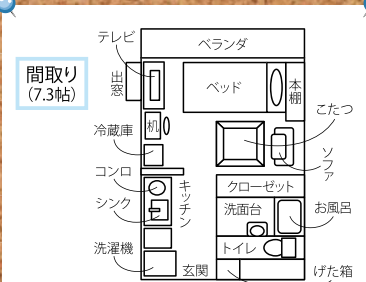
藤吉 洋輔 さん
人間文化学部
地域文化学科 4回生
岐阜県出身

- <1か月の生活費>
- 家賃 15,000円
 - 共益費 0円
 - 光熱費 2,000円(6人でワリカン)
 - 食費 20,000円
 - 家族からの仕送り:なし
 - アルバイト:あり
- <お部屋の情報>
- 広さ:8帖1部屋
 - 設備:キッチン、トイレ、バスは共同



和の良さを活かしながら、床の間につかえ棒を架け、クローゼット代わりにしています。

ワンルームマンションで一人暮らし生活を送る羽根淵さんは、楽しみながら家事に奮闘中。インテリアにもこだわっています。



○食事はどうしていますか？
昼は大学の食堂で食べています。夜はアルバイト先でまかないがあります。友達を呼んで「もんじゃ」を作ることもあります。朝は…ほとんど食べていません。

○あなたの節約術を教えてください。
まかない付のアルバイトをすることで、食費がずいぶん節約できます。

○今の下宿に決めた理由は？決め手は？
とても日当たりが良かったことです。朝日が差し込んでくみすので、朝の目覚めはすごくいい！大学までバイクで通っていて10分ぐらいです。

○一人暮らしをしてよかったことを聞かせてください。
課題やクラブ活動などで帰宅が遅くなることもありますが、門限がないので気が楽です。気軽に友達を呼んだりすることも、一人暮らしならではのいいところですね。

○一人暮らしをして大変だったことを聞かせてください。
洗濯物など、家事は全て自分でしなければならぬし、親に相談したいことがあっても、自分自身で決めていかなければならないことなど、すぐに親に頼れないことは大変ですね。

○これから一人暮らしをする人へアドバイスをお願いします。
部屋はいつもキレイにしておくことをおすすめします。疲れて帰ってきたときに落ち着ける空間を作ってほしいですね。



羽根淵 允哉 さん
環境科学部
環境建築デザイン学科3回生
愛知県出身

- <1か月の生活費>
- 家賃 40,000円
 - 共益費 家賃に含まれる。
 - 光熱費 10,000円
 - 食費 25,000~30,000円
 - 家族からの仕送り:あり
 - アルバイト:あり
- <お部屋の情報>
- 広さ:7.3帖のワンルーム
 - 設備:キッチン、トイレ、バス(セパレート)、オートロック



間接照明を取り入れて、落ち着ける雰囲気を出しています。

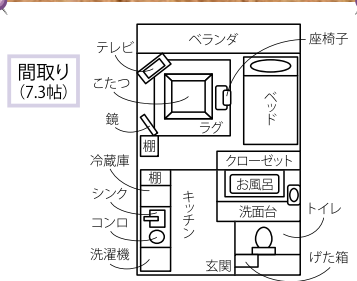
あなたのお部屋、見せてください。

突撃!!

大学生になると一人暮らしに憧れる人も多くは、親元を離れての一人暮らしは、炊事・洗濯と身の回りのことは全て自分でしなければなりません。きっと親のありがたさも身に染みてわかるはず。県大では、約4割の学生が下宿生活を送っています。今回はその中から4名の学生の下宿生活を紹介します。

下宿訪問

ワンルームマンションで一人暮らし生活を送る福島さんは、節約のためになるべく自炊をしています。きっと料理の腕も上達間違いなし!



○食事はどうしていますか？
朝は自炊、昼は大学の食堂でお弁当を持参しています。夜は自炊か食堂を利用しています。一度に多めに作って、作り置きしたり弁当のおかずにしていきます。

○あなたの節約術を教えてください。
電化製品のコンセントはこまめに抜くようにしています。また、昼食はなるべくお弁当を作って持っていく予定です。

○今の下宿に決めた理由は？決め手は？
決め手になったのは、家賃の金額と大学までの距離の両方の条件が良かったからです。大学まで自転車で通っていて15分ぐらいです。

○一人暮らしをしてよかったことを聞かせてください。
一つの部屋の中を自分で計画することによって様々なものに対する必要性や効果を身近に意識するようになったことです。あとは、気軽に友達を呼んで集まれることです。

○一人暮らしをして大変だったことを聞かせてください。
家事や生活費の管理など、生活の全てを自分自身でコントロールしなければならないことです。

○これから一人暮らしをする人へアドバイスをお願いします。
一人暮らしの全てが、自分自身にとっていい経験になると思いますよ。



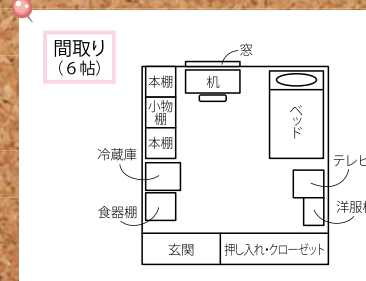
福島 渚 さん
人間文化学部
生活デザイン学科2回生
大阪府出身

- <1か月の生活費>
- 家賃 35,000円
 - 共益費 2,500円
 - 光熱費 4,000円
 - 食費 20,000円
 - 家族からの仕送り:あり
 - アルバイト:なし
- <お部屋の情報>
- 広さ:7.3帖のワンルーム
 - 設備:キッチン、トイレ、バス(ユニット)、オートロック



いろんなところで集めたポストカードなどを壁に飾っています。

一軒家の貸間を利用した「下宿」での生活を送る楊さんは中国からの留学生。同じ下宿先には留学生が3名生活しており、共同生活を送っています。



○食事はどうしていますか？
朝と夜は自炊をしています。昼は大学の食堂で食べています。得意料理は、中華料理全般と鍋料理です。

○あなたの節約術を教えてください。
家電製品は使わないときはコンセントを抜いておくことで、食費を抑えるため、昼食はできるだけご飯のみ持参しています。

○今の下宿に決めた理由は？決め手は？
とにかく家賃が安いこと！それと大学まで自転車で10分と近かったことが決め手です。

○一人暮らしをしてよかったことを聞かせてください。
日本で生活し、日本の人々とたくさん接することができ、日本の文化や習慣を知ることができたことは大きな経験になっています。

○一人暮らしをして大変だったことを聞かせてください。
食事を作ったり、何でも自分でやらなければならないことですね。それとやはり中国との生活習慣の違いに慣れること。

○これから一人暮らしをする人へアドバイスをお願いします。
貸間の下宿の場合、大家さんと関わる機会が多いので、大家さんとの相性も大事ですよ！



楊 海鯤 さん
環境科学研究科
環境動態学専攻
博士後期課程3年
中国出身

- <1か月の生活費>
- 家賃 18,000円
 - 共益費 1,000円
 - 光熱費 10,000円
 - 食費 30,000円
 - 家族からの仕送り:なし
 - アルバイト:あり
- <お部屋の情報>
- 広さ:6帖1部屋
 - 設備:トイレ、バスは共同



お気に入りのインテリアは、フクロウの置物や小物たちです。

Labo Report

環境科学部環境生態学科 伴 修平 研究室

“プランクトンの研究で琵琶湖の環境保全に挑む”

日本の湖沼は、1970年代まで富栄養化とそれに伴って生じた様々な問題に直面してきました。そして1980年代以降、こんどは外来生物の侵入や地球温暖化による影響が懸念されるようになってきています。我々の研究室では、プランクトンの生理・生態学を研究することによって、湖で起こっているこれら様々な問題を解決するための糸口とその解決策を探っています。

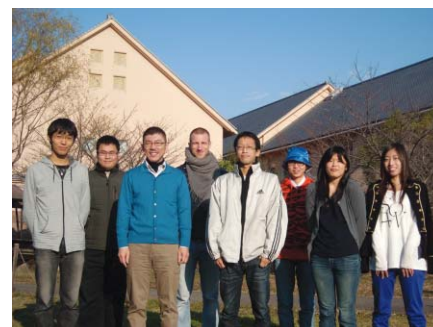
主な調査フィールドは琵琶湖で、実習調査船「はっさか」を使って、琵琶湖の沖合までプランクトンを採集しに行きます。現在取り組んでいる研究課題のひとつは、琵琶湖における過去50年間におよび動物プランクトンの変動要因を解析することです。これによって富栄養化と地球温暖化が琵琶湖生態系に与えてきた影響を評価し、将来予測に役立てたいと考えています。

この他にも様々な研究課題に取り組んでいますが、プランクトンの生理学的な研究を行うために、研究室では数種のみジンコを飼育しています。水温、餌密度、飼育密度といった環境要因の変動がこれらみジンコの成長や行動にどのような影響を与えるのかピーカーの中で実験します。みジンコを育てるのはそんなに難しいことではありませんが、成長が早いので（2週間ほどで親になる）、ネコを飼うよりこまめな世話が必要になってくるのがやっかいです。

現在、研究室には中国からの留学生が3名、日本人の学生が4名、フランスからのポスドク研究員が1名在籍しており、日々異文化交流が行われているようです。フランスからのポスドク研究員は琵琶湖とレマン湖の動物プランクトン長期変動データを比較検討することによって、地球環境変動が湖沼生態系に与えるより一般的な影響について研究しており、アジアとヨーロッパの研究者で作るプロジェクトを企画し、現在進行中です。



▲琵琶湖に生息するカブトみジンコ (*Daphnia galeata*)



研究室 DATA

教員：伴 修平

研究室：B3-201

URL：<http://www.ses.usp.ac.jp/ses/seitai/kenkyushitsu/ban.html>

Class Report

“生涯を通じた心身の健康へ”

「健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ」

全学共通教育科目

担当教員：国際教育センター 寄本明教授、南和広准教授

最近、運動していますか？

県大には、屋内球技コース（バドミントン、バスケットボール、バレーボール、卓球）、屋外球技コース（ニュースポーツ、サッカー、テニス、ソフトボール）、運動処方コース、野外活動コース（スキー・スノーボード、ゴルフ、海洋スポーツ）の4つのコースが開講されている。「健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ」という授業があります。

この授業のねらいは「健康および体力の科学的理解と生涯スポーツの定着化」であり、健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施しています。

幅広い学部・学科を持つ県大で、学生全員が受講することのできるこの授業には「学生たちに運動を通して豊かな人間性・人生を作り上げていってもらいたい!」という先生方の熱い気持ちが込



められています。

各々の能力や適性、興味・関心に合わせて、11種類もの豊富な種目の中から自分の希望する種目を選択することができ、それぞれのスポーツを通して、コミュニケーション能力や協調性、リーダーシップなどのライフスキルを身につけることができます。また、将来の健康のために、スポーツを普段の生活に取り入れていくきっかけも与えてくれるということで、毎年学生からの満足度も非常に高い授業です。

様々なスポーツを通して自分の人生をさらに豊かなものにしていきましょう!

荒神山ロックフェス2011

8月20日(土)21日(日)にセンター広場および学生ホールにて「荒神山ロックフェス2011」が開催されました。開催10周年となる今回は、「自分たちらしく」をモットーに、演出に工夫を凝らしたり、ステージの位置を変えるなど、前年度までの反省を生かし、私たちのやりたいことをやり、お客様はもちろん、スタッフも楽しめるようにと試行錯誤を重ねました。

当日はあまり天気にも恵まれませんでした。22団体が熱演を繰り広げました。来場者数も過去最高で、会場が一体となり、音楽に熱中する様子は最高でした。音楽はあらゆる壁を越えられます。



震災支援ボランティア報告会

10月27日(木)に「第2回ボランティア報告会」が開催され、継続的に東日本大震災の復興支援を行なっている学生たちの想いと活動が報告されました。

震災発生後、学生自治会や有志の学生により「東日本大震災の復興支援を考える人のネットワーク」を結成し、これまで「ボランティア報告会」や、「フロアシェアリング」(ボランティア活動を行なった学生たちが感じたことを共有する企画)を行なってきました。

今回の報告会を通じて、被災地でのボランティア活動を通じて広がったネットワークを活用し、学生の立場で「いま、できること」を今後も発信していきます。また、震災1年を迎える3月11日に向けて企画を計画しており、協力してくれる人を募っています。



第17回湖風祭 ~WONDERLAND~

11月11日(金)、12日(土)、13日(日)に滋賀県立大学にて、第17回湖風祭~WONDERLAND~が開催されました。

会場内はサブタイトルであるWONDERLANDにちなんだ装飾で彩られ、夜にはイルミネーションの点灯など会場内は非日常的な空間に包まれました。

また、ステージでの企画やライブも盛り上がりを見せ、大規模なフリーマーケットや模擬店の販売、学生による室内展示などの成果発表も大盛況のうちに幕を閉じました。

今年の6月16日(土)には第15回湖風夏祭を開催予定です。ぜひお越しください。



Kendai Book Review

「小舟木エコ村ものがたり つながる暮らし、はぐくむ未来」

編者：NPO法人エコ村ネットワーキング

『滋賀県内の研究者、経済人、行政リーダー、市民活動家の有志が集まり、健全で持続可能な社会のモデルを創ろう。』という理念のもと、2000年にNPO法人エコ村ネットワーキングは設立され、そのモデルとして、滋賀県近江八幡市に「小舟木(こぶなき)エコ村」が誕生しました。本書はその誕生から現在の生活の様子までを紹介したエコ村ガイドブックです。菜園や雨水タンク、太陽エネルギーの活用などの取り組みを紹介し、エコ村が特別な人達による特別な空間ではなく、普通の人による現代社会においてのヒトらしい暮らしの舞台であることを伝えています。



「大学的滋賀ガイド - こだわりの歩き方」

編者：滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科

『大学的滋賀ガイド-こだわりの歩き方』は地域文化学科の先生方を中心に執筆された滋賀を読み解く新しい「滋賀ガイド」です。歴史・文化・環境の視点から、それぞれの先生が滋賀県の過去・現在・未来について熱く語っています。地域文化学科の先生方がどのようなことを研究しているのか端的に書かれているので、地域文化学科の実態を示していると言えます。地域文化学科ってどんなことを学んでいるの?と具体的にイメージすることが難しいかもしれません。そんな方はぜひ本書を読んでみましょう!地域文化学科の理解が深まること間違いなしです。



Topics & Information

TOPICS 01

新理事長予定者が決定しました

本学では曾我直弘理事長(学長)が平成24年3月31日で任期満了となるため、次期理事長(学長)予定者について滋賀県立大学理事長選考会議で審議を重ね、大田啓一氏を次期公立大学法人滋賀県立大学の理事長(学長)予定者として選考いたしました。



大田啓一氏は滋賀県立大学環境科学部長を2年間歴任後、平成20年度後半には理事長補佐を務め、平成21年からは教育担当理事・副学長として本学の教育研究の発展と法人の経営管理に力を注いできました。滋賀県立大学将来構想「SD2020ビジョン」を指針として、より一層教育の質保証に取り組んでいく姿勢・意欲が明確であり、これまでの取組を継承し、更に滋賀県立大学の発展を目指す次期の理事長としてふさわしい人物として選考されました。任期は平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間です。

TOPICS 02

長浜市と連携・協力に関する協定を締結しました

長浜市においては、平成22年1月に6町(虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町)と合併して、新しい「長浜市」がスタートしたところであり、個性豊かで多様な地域の魅力を十分活かす、特性をふまえたまちづくりを進められています。

本学は、これまで地域まちづくりプランやバイオオースタウン構想など、長浜市の新しいまちづくりに関する連携を行ってきましたが、これまでの取組みをさらに発展・充実させ、両者が連携・協力して長浜市の発展と地域における人材育成を推進していくため、平成23年6月23日(木)に、相互の連携・協力に関する協定を締結しました。今後、両者は、長浜市における地域資源等の発掘に関する調査研究などを連携して実施する予定です。

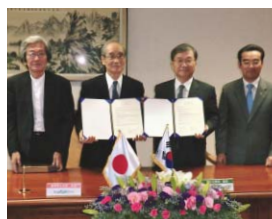


TOPICS 03

大韓民国蔚山大学校と交流協定を締結しました

平成23年9月23日、大韓民国の蔚山広域市にある蔚山大学校を訪問し、両大学の学術交流と協力を促進するための包括協定を締結しました。蔚山広域市は現代グループを中心とした人口110万人の工業都市であり、その中にある蔚山大学校は1970年に設立された私立の大学です。学生数(学部生)は現在1万2千人を超え、人文学、社会科学、工学など12学部を有する大学です。

今回の訪問は、曾我直弘学長と布野環境科学部長のほか、本学の環境建築デザイン学科の教員2名と学生も渡韓し、交流協定締結に合わせて、蔚山大学校建築学部の学生と国際建築ワークショップを行いました。



TOPICS 04

青海民族大学と交流協定を締結しました

平成23年10月20日、中国の青海民族大学より副学長をはじめ5名が本学を訪れ、両大学の学術交流を促進するための一般交流協定を締結しました。

青海民族大学は、1949年に創立した中国で最も古い総合民族大学の一つです。大学はチベット高原の一部、青海省に位置し、民族色豊かで各民族がお互いの文化を尊重しながら教育・研究が行われています。文学、法学、経済学、管理学、医学子など15の学院と6つの直属教育組織で現在約1万3千人の学生が日々勉学に励んでいます。

協定締結式の後、「青海民族大学・滋賀県立大学友好協定記念学術講演」が開かれ、本学の学生が熱心に講義に聞き入りました。



TOPICS 05

環境科学部と大韓民国大眞大学DMZ研究所および同カンヌン森林研究所は学部間協定を締結しました

平成23年12月22日、大韓民国の抱川(ポチョン)市にある大眞(ダイジン)大学DMZ研究所およびカンヌン森林研究所を訪問し、学部間の学術交流を促進するための包括協定を締結しました。

京畿道抱川市は首都ソウル近郊に位置する人口16万人の都市であり、ここに位置する大眞大学は1991年に設立された私立大学です。人文学、社会科学、自然科学、工学および芸術の5学部と大学院を有する大学です。

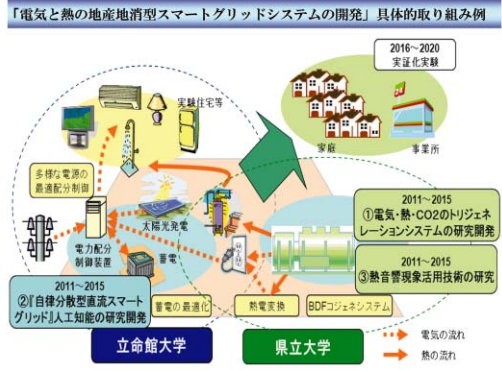
DMZ研究所とカンヌン森林研究所ではDMZの保全と利用のための研究を進めており、琵琶湖の保全について研究を行ってきた本学環境科学部にとっても、有意義な交流が期待できます。DMZとは非武装地帯(Demilitarized Zone)



TOPICS 06

地域イノベーション戦略支援プログラムに採択されました

産学連携など大学・研究機関における研究成果を地域の活性化につなげる取組を進め、経済波及効果と雇用創出効果を明確にしたグリーンイノベーションライフイノベーションなどの地域イノベーションの創出とそれらを効果的に支援する「地域イノベーション戦略支援プログラム」(文部科学省所管)に滋賀県立大学、立命館大学および滋賀県の提案が採択されました。採択された研究テーマは「電気と熱の地産地消型スマートグリッドシステムの開発」で、地域での自然エネルギー等による供給を増加させ、温暖化対策と自給率の向上を目指します。



Information

受賞・表彰

◆個人(教員等)

環境科学部 近藤隆二郎 准教授
(特定非営利活動法人五環生活)

彦根市

市制施行75周年感謝状(観光振興に寄与)

工学部

山根 浩二 教授
河崎 澄 准教授

一般社団法人日本機械学会・第88期(2010年度) 熱工学部門賞・部門一般表彰
講演論文表彰

国際教育センター 寄本 明 教授

大学院人間文化科学研究科博士後期課程

坂手 誠治さん(修了生)

第66回日本体力医学会大会

大塚スポーツ医・科学賞・特別賞

地域づくり教育研究センター

上田 洋平 研究員

公益社団法人日本青年会議所「人間力大賞2011」

人間力大賞・総務大臣奨励賞・環境大臣奨励賞

◆個人(学生)

大学院工学研究科博士前期課程

1 回生 岩田宗太郎さん

第6回日本セラミックス協会関西支部学術講演会

学生講演賞

大学院人間文化科学研究科博士前期課程

2 回生 川村 浩一さん

日本建築学会近畿支部都市計画部会主催

第2回アーバンデザイン甲子園

審査員特別賞

人間文化学部生活デザイン学科

4 回生 肥川 修士さん

南 政宏 助教

pentawards 2011 Luxury部門

silver award

人間文化学部生活デザイン学科

4 回生 近藤 千愛さん

中谷吉郎雪の科学館 第6回「雪のデザイン賞」

銅賞

人間文化学部生活デザイン学科

3 回生 布施 遥香さん

3 回生 山内茉莉佳さん

NDK第53回新人デザインコンテスト

京都商工会議所会頭賞

染織新報社賞

◆団体(クラブ等)

いぶきクラブ

彦根市

市制施行75周年感謝状(地域福祉の増進に寄与)

吹奏楽部

吹奏楽コンクール(滋賀県大会・大学の部)

銀賞・きらめき賞

剣道部

工学部3回生 古川 翔一さん

彦根市剣道選手権大会 一般の部

優勝

ウインドサーフィン部

環境科学部3回生 鈴木 貴之さん

伊勢湾カップテクノクラス 総合2位

環境科学部3回生 鈴木 透真さん

工学部3回生 永野 祐大さん

環境科学部3回生 羽根洵哉さん

関西選手権第1戦

総合3位(鈴木さん) 総合4位(永野さん)

総合6位(羽根洵哉さん)

環境科学部1回生 前田 哲志さん

関西プレ新人戦 総合5位

団体の部

優勝

環境科学部1回生 前田 哲志さん

環境科学部1回生 平野 颯一さん

セタクップ2011

総合4位(前田さん) 総合7位(平野さん)

ソフトテニス部

関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦

6部C優勝

硬式野球部

環境科学部4回生 石丸 翔一さん

工学部3回生 川嶋 遼さん

京滋大学野球連盟秋季リーグ戦(II部)

首位打者・ベストナイン(三塁手)(石丸さん)

ベストナイン(外野手)(川嶋さん)

廃棄物バスターズ

第9回全国大学生環境活動コンテスト

(e-con 2011)第3位(審査員特別賞)

人事異動

着任

平成23年8月1日付

清水 房枝

人間看護学部 教授

平成23年10月1日付

岩間 希

経営戦略グループ 主任主事

平成23年10月1日付

前川 美奈

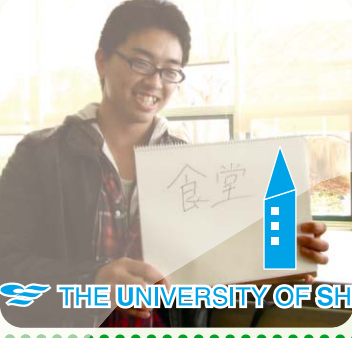
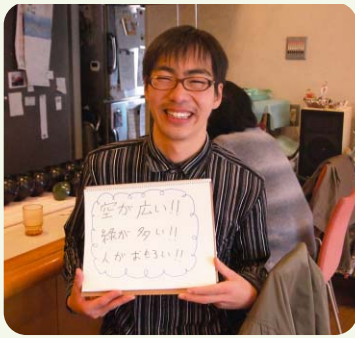
財務グループ 主事

退職

平成23年7月31日付

菅原 透

工学部カラス工学研究センター 助教



2月	6	火	調整期間(補講等)開始(～10日)
	15	水	第8回琵琶湖塾 講師: 田原総一郎氏(評論家・ジャーナリスト 琵琶湖塾塾長) ゲスト: 平田 オリザさん(劇作家・演出家、大阪大学教授、内閣官房参与)
	10	金	後期授業終了
	13～17	月～金	後期定期試験
	16	木	大学院入学試験(人間文化学研究所生活化学専攻博士前期課程)
	16	木	大学院入学試験(人間文化学研究所博士後期課程)
	17	金	大学院入学試験(人間文化学研究所地域文化学専攻博士前期課程)
	23	木	大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程)
	23・24	木・金	大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程)
	23	木	大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士後期課程)
	24	金	大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士後期課程)
	25	土	一般選抜試験前期日程

3月	1	木	大学院入学試験(工学研究科先端工学専攻博士後期課程)
	12	月	一般選抜試験後期日程
	20	火・祝	学位授与式
	21	水	春季休業開始

4月	1	日	リサイクル市
	3	火	新入生友好祭
	5	木	入学式(午前)、新入生オリエンテーション(午後)
	6	金	全学オリエンテーション、春季休業終了
	9	月	前期授業開始
	中旬		定期健康診断(学部3回生以上、大学院生)

5月	月上旬		第6回運動会
	中旬		定期健康診断(学部1・2回生、大学院生)
	下旬		春期公開講座(毎土曜日 5週間予定)

6月	6	水	開学記念日(水曜日科目の通常事業)
	16	土	湖風夏祭

7月	7	土	体育会京都市立大学定期交流戦「京滋戦」
	16	月・祝	月曜日の通常授業
	21	土	補講日(金曜日科目)
	24	火	調整期間(補講等/火曜日科目)
	25	水	調整期間(補講等/水曜日科目)
	28・29	土・日	オープンキャンパス
	30	月	調整期間(補講等/月曜日科目)
	31	火	調整期間(補講等/木曜日科目)、前期授業終了

8月	1	水	前期定期試験開始(～7日)
	8	水	夏季休業開始
	8	水	調整期間(集中講義)開始
	10	金	調整期間(集中講義)終了

県大イベントカレンダー

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」は県大が持つキラリと光る「jiman」などを紹介する広報誌です。2007年の創刊以来、5年の月日を経て、このたび第10号の発行を迎えることができました。これも読者の皆さまをはじめ、多くの方からのご支援のおかげです。本当にありがとうございます。もちろん歴代の広報スタッフの頑張りも忘れてはなりません。これからますます充実した広報誌として県大の魅力を発信していきたいと思っておりますので、応援よろしくお願ひします。

「県大jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、今後もみなさんの協力をいただきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

学生広報スタッフ大募集！ 広報誌作成グループでは、県大jimanの作成に参加してくれる学生を募集しています。私達と一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。デザインの専門知識がなくても大丈夫です。興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

- 広報スタッフ
- スタッフ3年間楽しかった！ありがとう県大★
4年間ありがとうございました！楽しく取り組みました
表紙に載ってくれた方ありがとうございました！
表紙の皆さん素敵な笑顔ありがとうございました！
友人達の取材協力に心からのありがとうを！
新スタッフをお待ちしています！事務局へ！
- (人間文化学部4回生 澤田 奈緒)
(人間文化学部4回生 中田 瑞季)
(人間文化学部3回生 筒井 明日実)
(人間文化学部3回生 中西 未紅)
(人間文化学部3回生 谷本 早彩)
(人間文化学部3回生 中林 由佳)
- 県大の国際化に置いて行かれないようにしたいです
役立たずでしたが、今回もありがとうございました！
みんな工夫して一人暮らしをしていますね
ついに10号！学生のチカラのおかげ！
一緒に制作してくれる方、大募集中です！
進め！異文化交流
- (環境科学部3回生 井上 はづき)
(人間文化学部3回生 平井 菜々子)
(工学部 河崎 澄)
(人間文化学部 佐々木 一奏)
(事務局 茶谷 忠宏)
(事務局 岩間 希)

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」第10号
発行／滋賀県立大学広報委員会
編集／広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
Tel.0749-28-8200 Fax.0749-28-8470
URL：www.usp.ac.jp/
E-mail：webmaster@usp.ac.jp
発行日／2012年1月31日

表紙デザイン
人間文化学部生活デザイン学科3回生
筒井 明日実／中西 未紅

